



町の未来を担う4人のホープ 共生社会を語る。

01



朝井 虹菜 さん

高校のマーチングバンド部の経験から、結果を残すことの苦しみや喜びは強く感じているので、酒井さんや大橋さんをはじめマレーシアの選手団には、よい結果につながるよう応援していきます。大学進学後も音楽を続けているので、音楽で共生社会ホストタウンに何か貢献できることがあればと思っています。



Profile

2001年生まれ。三芳町出身。埼玉栄高校時はマーチングバンド部長で第47回マーチングバンド全国大会大編成の部で最優秀賞とグランプリ、文部科学大臣賞受賞。



大橋 弦樹 さん

共生社会ホストタウン登録で、文化交流だけでなく、町ぐるみでパラリンピアンを応援する取り組みが加速してほしいですね。私がパラ水泳選手となったのは、5歳の時、体力づくりの一環でプールの水に触れたことがきっかけです。車いすでも安心して暮らせる三芳町として、バリアフリーが進み、さらに充実していくことを期待しています。



Profile

2000年生まれ。三芳町出身。東京国際大学人間社会学部福祉心理学科2年生。全国障害者スポーツ自由形25m、50m選手（埼玉県代表）。

03



酒井 藍莉 さん

デフフットサルの「デフ (deaf)」とは英語で聴覚障がいのある人の意味。共生社会ホストタウン登録をきっかけに、手話をもっと普及してほしいと思っています。聴覚障がいは見た目では判別できないので、まずは町の人に私の存在を知ってもらえるよう好成績を残していきたいです。一人ひとりが町のためにできることを始めていく、それが共生社会に結びつくと思います。



Profile

1998年生まれ。静岡県出身、三芳町在住。デフフットサル日本代表として2019年2月のアジア大会で得点王に輝き、11月のW杯では世界5位の成績を残した。



石川 未彩 さん

中学生の時、町の海外派遣事業でマレーシアを訪問し、ホームステイしながら学校に通いました。当時は気づきませんでしたが、町の皆さんの友好への尽力があったからこそその派遣だったと思います。今度は、私がマレーシア選手団を歓迎する番です。マレーシアの方々から受けた愛や多国籍文化に触れた経験を活かして、お世話になったマレーシアの皆さんへ恩返しをしたいと思います。



Profile

2003年生まれ。三芳町出身。細田学園高等学校2年生。2017年マレーシア中学生派遣参加。三芳町ジュニアボランティアリーダー研修会在籍。

04

共に支え合う「バリアフリー」のまちをめざして——

マレーシアの共生社会ホストタウンとなり、今年はさらに優しいまちづくりを加速します。核となるのは、若い世代のホープの皆さんです。



石川未彩さん × 酒井藍莉さん × 林伊佐雄町長 × 大橋弦樹さん × 朝井虹菜さん

共生社会の実現に向けて

三芳町とマレーシアの友好関係は、1989年の東人間青年会議所とペタリングジャヤ市（PJ）青年会議所との提携までさかのぼります。

2017年に三芳町とPJ市は正式に姉妹都市提携を結び、昨年3月マレーシアの「共生社会ホストタウン」に登録。パラリンピック選手との交流などを通して、共生社会の実現に向けて動き出しました。

パラリンピック終了後も継続して、「ユニバーサルデザイン」のまちづくりや「心のバリアフリー」に向けた特色ある取り組みを展開していきます。

町の未来を担う若い世代

共生社会の実現に向け、三芳町の未来を担い、核となるのは若い世代の皆さんです。これからの三芳町の発展には、若い世代の活躍が欠かせません。今回は、三芳町を先導する4人の若者に、共生社会とバリアフリーについて、思いを語っていただきました。